

25.3期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

2024年11月8日



月島ホールディングス

25.3期 第2四半期決算 連結損益

- **受注高**は、水環境事業のJFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業の統合および両事業での大型案件の獲得により、大幅に増加（**2Q時点の受注高、受注残高、売上高は、過去最高**）
- **売上高**は、豊富な受注済み案件の進捗により、大幅に増収
- **営業利益**は、事業統合および人的資本投資による販管費の増加はあるものの、増収や利益率改善により、**増益**
- **中間純利益**は、増益に伴う法人税の増加および前期投資有価証券売却益が無くなったため、**横ばい**

| 【単位：億円】 | 24.3期 第2四半期 実績 | 25.3期 第2四半期 実績 | 前期比 |
|---------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 受注高 | 726 | 1,039 | +313 |
| 受注残高 | 1,783 | 3,259 | +1,476 |
| 売上高 | 383 | 533 | +150 |
| 営業利益 | 0 | 11 | +11 |
| 営業利益率 | 0.0% | 2.1% | +2.1% |
| 経常利益 | 7 | 19 | +12 |
| 親会社株主に 帰属する中間純利益 | 9 | 10 | +1 |
| EBITDA | 16 | 30 | +14 |

25.3期 第2四半期決算 連結損益（受注高、売上高）

その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

受注高

【水環境事業】

JFEエンジニアリング(株)との国内水エンジニアリング事業の統合および複数の大型案件を順調に獲得し、大幅に増加

【産業事業】

環境で期ズレしていた大型案件を受注、産業インフラの受注も堅調で、増加

売上高

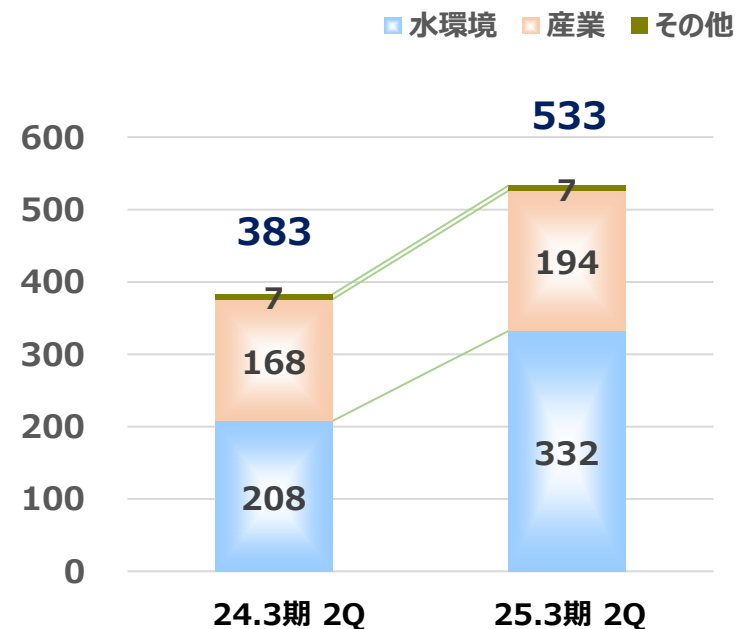
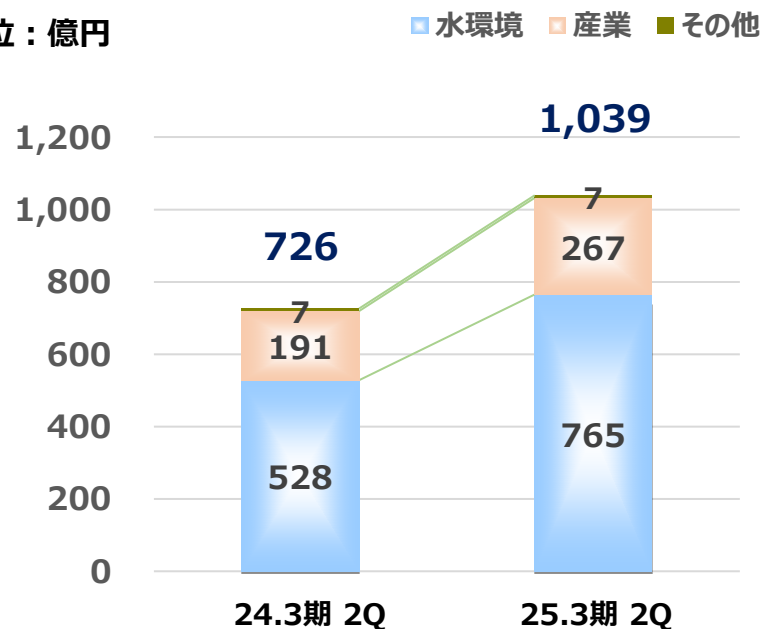
【水環境事業】

豊富な受注済み案件の進捗により、大幅に増収

【産業事業】

受注済み大型案件の進捗により、増収

単位：億円



25.3期 第2四半期決算 連結損益（営業利益）

営業利益

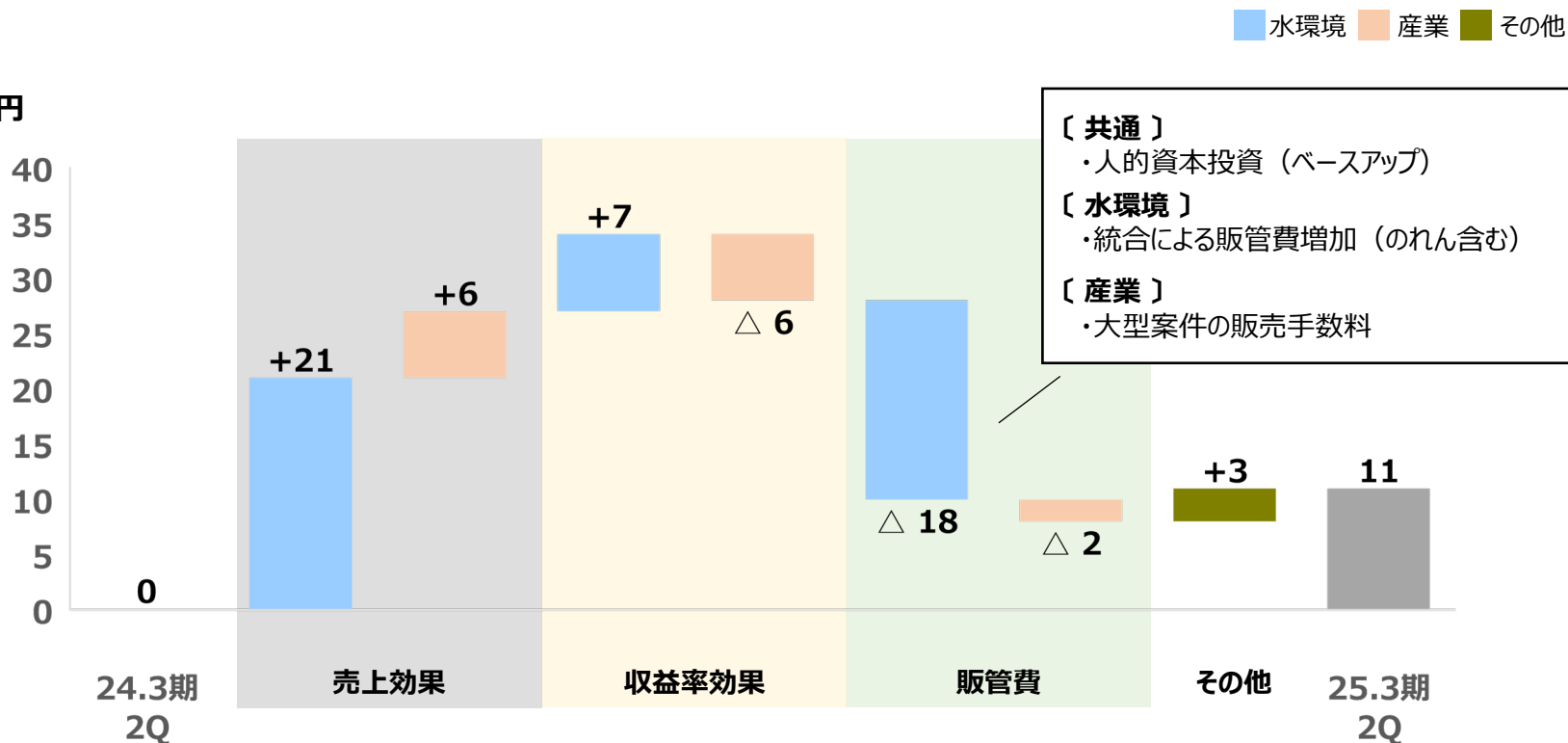
【水環境事業】 統合による販管費の増加(のれん含む)も、増収や利益率改善により、増益

【産業事業】 増収も、案件の構成差および販管費の増加により、減益

※両事業共に、人的資本投資の拡充あり

【その他】 前期物流施設の不動産取得税の解消により、増益

単位：億円



25.3期決算 業績見通し

受注高

【全体】 期首公表値を上方修正
【水環境事業】
 水インフラ需要は好調、大型案件も獲得できていることから上方修正
 (期首より+100億円)
【産業事業】
 期ズレした大型案件を取り込み、予定案件も積み上がっていることから上方修正 (期首より+20億円)

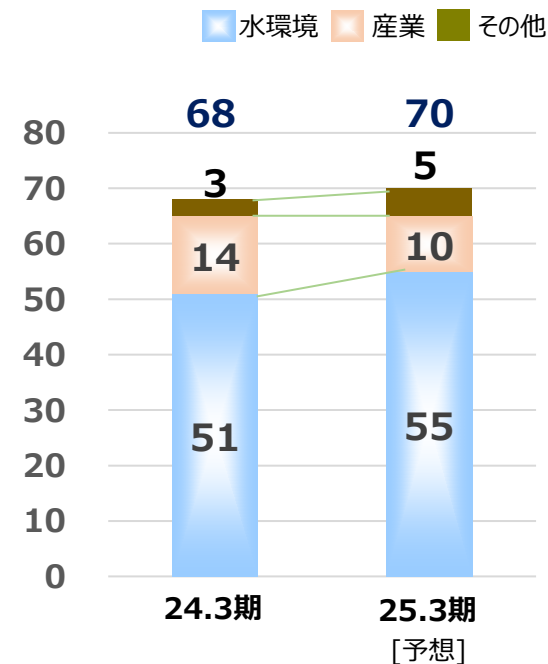
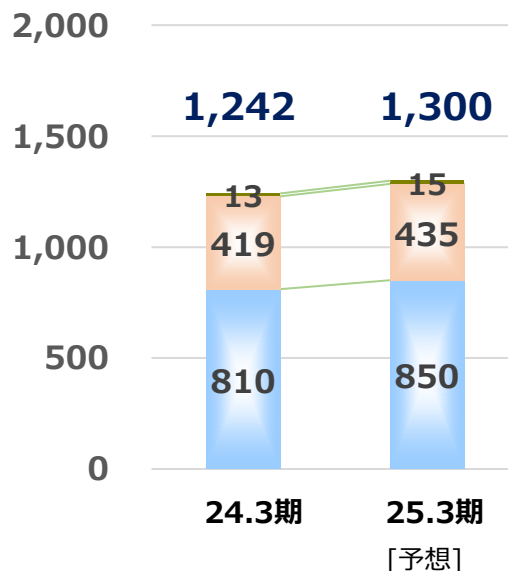
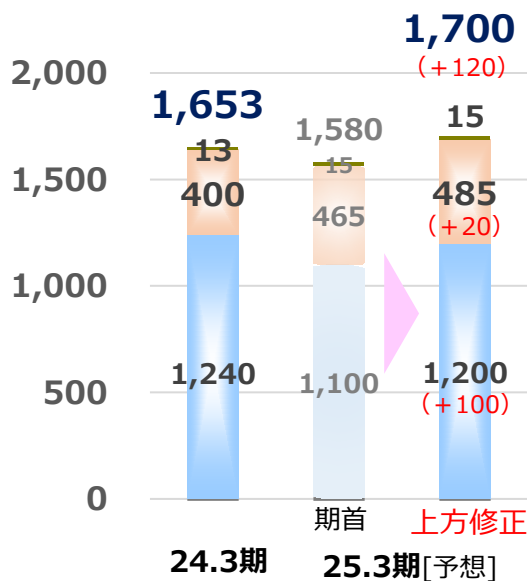
売上高

【全体】 期首公表値を維持
【水環境事業】
 期首の受注残高は過去最高。案件の進捗により、増収
【産業事業】
 排水処理などの受注済み案件が進捗し、増収

営業利益

【全体】 期首公表値を維持
【水環境事業】
 統合費用などの一過性の費用は解消するものの、事業統合によるのれん・無形固定資産の償却により、小幅増益
【産業事業】
 増収も、案件の構成差により、減益

単位：億円

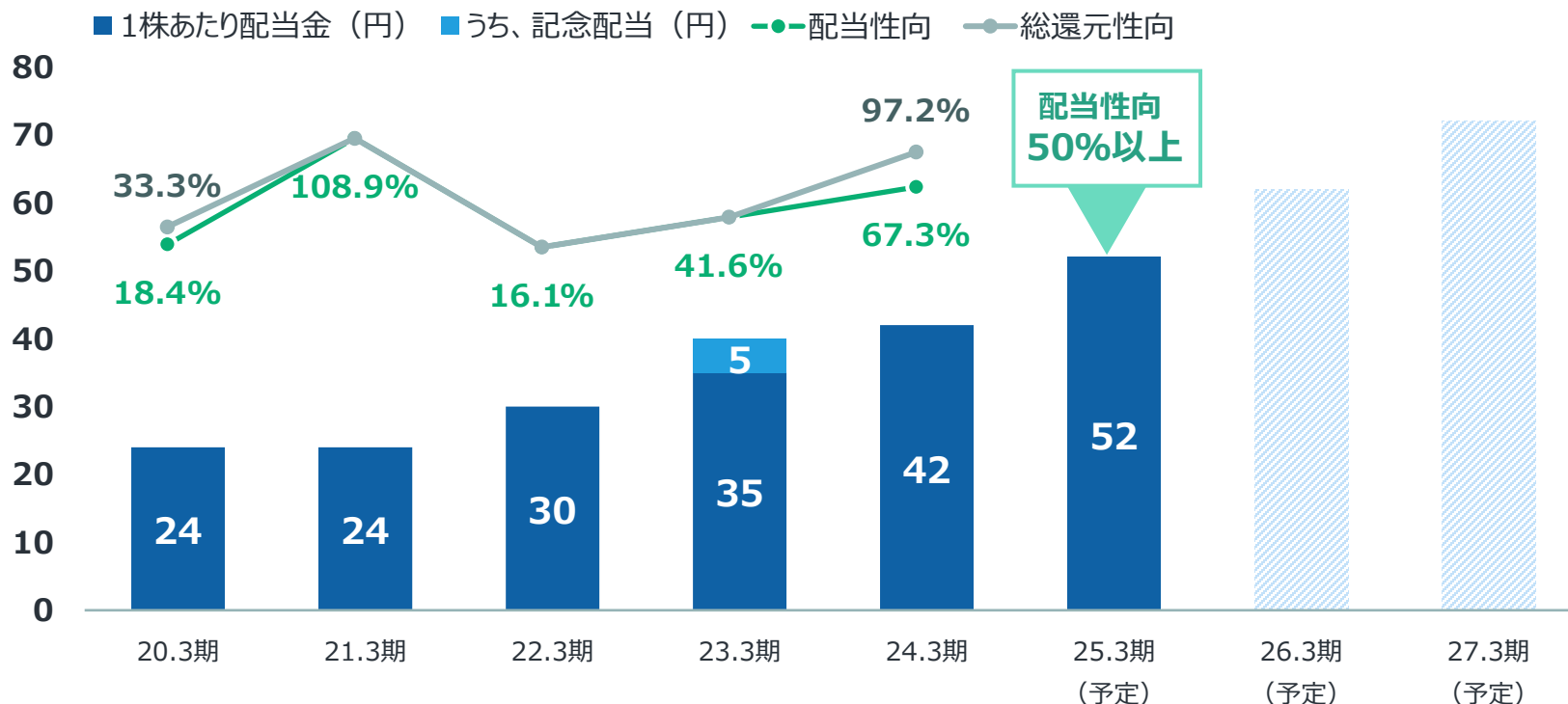


株主還元方針の見直し（株主還元の拡充）

- 政策保有株式の売却と検討中の設備投資の時期を見直し、25.3期の配当性向の目標を50%以上に拡充
- 25.3期は1株あたり52円の配当を予定（10円増配）
- 安定的な配当と継続的な増配に努めるとともに、機動的な自己株式の取得を実施

株主還元方針の見直し

| | 改訂前 | 25.3期 |
|-------|-------|-------------|
| 総還元性向 | 50%以上 | 50%以上（変更なし） |
| 配当性向 | 40%以上 | 50%以上 |



※21.3期はプライミックスの減損により配当性向は108.9% 減損を考慮しない利益を基準とした場合は約30%